

第1次安平町農業・農村振興計画の要約版 (平成22年～26年)

<現状と課題>

1 農業生産力

- ・機械や施設の老朽化
- ・飼料や肥料価格の高騰
- ・鳥獣被害の増加

2 担い手

- ・農業者の減少と高齢化
- ・就農ルートの多様化
- ・共同システムの構築

3 環境

- ・クリーン農業の加速化
- ・地域資源の循環
- ・土地改良施設の老朽化
- ・多面的機能の確保

4 農村空間

- ・上、下水道等の未整備
- ・情報通信基盤の未整備
- ・集落維持機能の弱体化

5 食と農への関心

- ・食生活の多様化と乱れ
- ・相次ぐ食品の不正表示
- ・都市住民の農業・農村への期待の高まり

安平町総合計画
(基本計画)

『くらしの笑顔が広がる
ぬくもりと活力と躍動
のまち』

縦割りや分野別の
組織の壁を乗り越え、
「オール安平町」体
制により、農業・農
村が持つ潜在能力を
最大限に発揮するこ
とが地域の活性化に
は重要

農林水産省

食料・農業・農村基本計画

- ①食料の安定供給の確保
- ②多面的機能の発展
- ③農業の持続的な発展
- ④農村の振興

第3期 北海道

農業・農村振興推進計画

- ・農業・農村ビジョン21
の将来像の実現
- ・北海道独自の生産努力
目標の達成



消費者と農業者の交流と共生
により成長する大地 あびら

3つの視点から明らかにする“めざ
す将来像”と8つの振興方針

『産業』を鍛える～信頼の
連鎖から成長する農業～

- 1 悠久の基幹産業を支える元気な担い手づくり
- 2 安全な食の供給力を高める産地体制の強化
- 3 伝統と栄光を進化させる畜産基地づくり
- 4 試行錯誤の先にみえる構造改善への戦略プラン

『環境』を育てる～大地を
覚ますエコ農業への挑戦～

- 5 環境保全を一層重視した農業生産の推進
- 6 美しい農村を未来に引き継ぐ保全活動

『地域』を活かす～大交流時
代から望む住民との共生～

- 7 にぎわいと雇用を生み出す「農村」づくり
- 8 地産地消・食育・交流を通じた応援団づくり

本町農業・農村の魅力を
フルに活用し、豊かで安
定した町民生活の実現